

個別音楽療法での出来事

荒川区立特別養護老人ホームサンハイム荒川・専門職

個別音楽療法でのエピソードです。

ショートステイ利用のM様は帰宅願望があり、落ち着きがなく、車いすからの立ち上がりも頻回で職員を困らせていました。そのため私は、個別音楽療法で関わる機会をいただこうと思い、ご本人にお声がけをしたところ、快く受け入れてくださいました。

M様はどんなジャンルの音楽でも、聞いたり歌ったりするのが好きだと仰っていました。まず【紅葉】を弾き歌いすると「いいね！」と発し、笑顔が見られ、表情が明るくなりました。その後、唱歌や歌謡曲等の弾き歌いすると、どんな曲でも一緒に口ずさんでくださいました。「この曲のメロディーが好きなんだよね」「懐かしい」「色々な曲が聞けて嬉しい」等感想を仰っていました。「愛の讃歌」をお聞かせすると「この曲はとても好きなんだよ。本当にいいね、涙が出ちゃう。」と涙をぬぐう様子も見受けられました。

そして、M様から「実は昔ギターをやっていて、2本家にあるんだ。また来た時にはギター持ってくるからコラボしようね。」と目を輝かせて言ってくださり、私はとても嬉しかったです。

音楽は人の心を落ち着かせ、昔の懐かしい幸せな頃を思い返す力あると感じた瞬間でした。